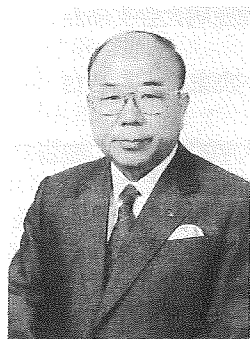


建設不動産部会報

第21号



ぜいへん
蛻変しつつある
わが建設・不動産部会

部会長

(株)日経コンサルタント

代表取締役

丸山 藤夫 (昭34・商)

今から13年前の1984年に、建設・不動産部会は母なる大地である明大昭和会の中で業種別部会として生まれました。

その後、当部会は役員各位、会員諸氏のご協力により、新年会、総会、納涼会、家族旅行会、ゴルフコンペ、会員研修会、登山ハイキング、忘年会、と活発な活動を続けてまいり、現在は320余名の部会員を有するまでに発展しました。

反面、会員の多様なニーズ、特に若手会員の要望でもある実利的な活動や明大本校との関係などに、どのように応えるかが当部会としての課題でもありました。

ところで、タイトルとしてあげた「^{ぜいへん}蛻変」というのは、明治大学名誉教授であられ、現在日本経営教育学会会長でもある、藤芳誠一博士が提唱された「蛻変の経営学」から引用した言葉であります。その意味するところは「蟬が幼虫から脱皮して新しい生命を誕生させる」事であり、「改革」とか「変革」「革新」あるいは「創生」に当たる用語ではありません。

これらの意味では、わが建設・不動産部会は昨年から今年、更に来年にかけて三つの蛻変を成し遂げつつあるのではないかと思います。

その一つは、鈴木正彦副会長がリーダーとなって、昨年から活躍している「不動産駿台会」であり、毎月1回ずつ不動産に関する情報交換会を開催しています。同時に慶応三田会、早稲田稲門会、中央白門会など、他大学OBの不動産グループと連携をとりながら、サークル活動を続けています。

その二つは、明治大学の唯一のオフィシャルなOB会である校友会の今年5月に行われた代議員総会において「建設・不動産明大会」が支部として承認されて、兼松紘一郎副部会長が支部長に就任し、校友会の新しい支部としてスタートしたところです。

これら二つのグループの発足は、明大昭和会に生をうけ13年間の歴史に培われた果実であります。

さらに、明大昭和会の職種別部会である建設・不動産部会が来年度からは、「建設・不動産明大会」へと生まれ変わっていくこととなりますが、これからも益々発展するよう会員諸兄のご協力を期待しております。



「建設・不動産明大会」 について

明大昭和会建設・不動産部会副部長
明治大学校友会建設・不動産明大会支部長

兼松 紘一郎

この春 私達は一つの決断をした。いうまでもなく明治大学校友会への加盟である。この選択を将来の発展に生かすために、皆様のご理解と御協力をいただきたい。

建設・不動産部会は、13年前明大昭和会の中の一部会として発足した。以来新年の賀詞交歓会、夏の納涼パーティーあるいは釣りやハイキング等の同好会という親睦の会だけでなく、各種の勉強会や話題になっている建物等の見学会を積み重ねてきた。いつの会も、役員や会員の人脉や創意工夫により、多彩なゲストをむかえ、とても有意義な会をつくってきたと思う。

奥様やお子様連れの方も多く、私達の会が緑で御家族同志のお付き合いをされている方も沢山いることも記しておきたいことである。

又当然のことだが、建築と不動産という程良い異業種の集まりの上に、明大の同窓という信頼がベースとなって、仕事のやりとりの上でも成果が上がっていることもこの会の特徴ではないだろうか。これを踏まえて、鈴木副部長がリーダーとなって不動産業者の情報交換会「不動産駿台会」が昨秋発足したのは既知の通りである。駿台会は、慶応、早稲田、中央の各大学との交流も志している。

私が少しくどい位今までの活動を記したのは、それでもなお役員会では将来を考えて、部会のあり方を模索していたという事を伝えたいためである。

本校の駿河台再開発の第一期工事は順調に進んでいるが、数名の会員の方が私の事務所を訪れた。計画推進室の明大OBに対する対応に釈然としないものを感じ、私達の部会が何らかの情報を得ているのではないかと期待を持たれたようだが、部会の状況を説明すると失望を禁じえないようだった。学校との絆をより深くする方法はないかと考える一因になった出来事である。

私達が校友会へ加盟することになったのはこの他に三つの要因があったと思う。

- (1) 全国へ展開していきたい。各地域には色々な形のOB会があるが、例えば広島では校友会の中に建築関係のOBの集まりがあるが、転動になると所属する会がなくなってしまふという。私達の会はその受皿となるべきではないだろうか！又他の支部とのOBとしての新しい交流を進めたい。
- (2) 会の活性化のためには、若い人の入会が大切である。若い校友にとって魅力のある会ではなくてはならない。
- (3) 学校への寄与。私達の会が初の職種の支部として活発に活動する事自体が学校へ寄与することになるのではないかと考える。今までとは違うスタンスで学校とのコンタクトを取り明大OB会としての誇りをもつこと。

既に種々の機会をつくってお知らせしてきた様に、2月6日大学会館に於いて設立準備会を開き、兼松が支部長に選出され、2月10日校友会事務局へ書類提出、5月25日の校友会代議員総会に於いて「建設・不動産明大会支部」として校友会への加盟が承認された。

私達の部会には、他の校友会地域支部に所属している人が大勢居り、しかも代議員として活動している方も20数名を数える。しかし現在の校友会の会則では私達のように職種支部のメンバーであると他の支部に所属することは出来ない。それに部会のあり方については、昭和会本部との調整も必要である。数重ねてきた役員会では、会の二元化は避けたいとの

意向が強かった。すなわち、会の中に部会と校友会があり、事務局、会計、活動が混在する事は会の運営上又活性化に支障をきたすというのである。

以上の事項をふまえて6月15日の総会に於いて基本方針の承認を得。その後に開いた役員会に於いて下記事項を確認した。

- (1) 来年4月に行う予定の総会に於いて、昭和会建設・不動産部会は「建設・不動産明大会」へと名称変更し昭和会から独立する。
- (2) 建設・不動産明大会の主要な活動として「明治大学校友会建設・不動産明大会支部」があると位置づける。
- (3) 代議員は、今期は先般校友会事務局へ提出した名簿の中より、五名を選出する。
- (4) 今期(来年の3月まで)は役員改選の年ではないので、現行役員体制で活動を行い、来年の総会までに”建設・不動産明大会”の組織の検討を進める。
- (5) 新組織では原則として会長が支部長を兼ねる。

7月2日の霜田昭和会代表幹事と会い、今までの経緯と 現況を説明したところ、私達の意向を快く了解して下さいました。今後建設・不動産部会の名前を昭和会の中に残していくかどうかは本部で検討することになるが、私達の会員の中に残留を希望する方があれば、それはそれでよしとしなくてはいけないだろう。しかし上記五項目を御理解の上、新しい明大会の活動への積極的な参加を是非お願いしたい。

昭和会も変わろうとしている。私達が昭和会から独立しても同じ明大のOBとして、新しい形での交流と昭和会への支援を霜田会長に約束した。

明大会のあり方の細部について、又昭和会との交流についても、皆様の意見を聞きながら来年の4月までに徐々に考えていけばいいと思っている。

はからずも、初代の明大会支部の支部長という重責を担うことになったが、校友会については私自身初めての体験ではなはだ心もとない。しかし私達の会には前述した様に心強い先達が沢山居る。心おきない御指導をたまわりたい。部会設立に係わったメンバーの一人として明大会が軌道に乗るまで頑張り、なるべく早い時期に後進に後を託す所存である。活性化には新陳代謝が大切だと思うからである。

最後になりましたが、校友会の加盟に御協力と御支援を下さった校友会関係の方々と昭和会の方々には心から御礼を申し上げます。

(株)兼松設計 主宰 (昭37・工)

総 会

平成9年6月17日(火)、第12回総会が大会会館8階会議室で行われ、当日は45名の部会員が集まりました。丸山部会長の開会の辞に始まり、沼田企画部長による平成8年度活動報告、平成9年度活動計画案、近藤財務部長の会計報告、校友会支部加入について兼松副部長(支部長)より説明がありました。

総会終了後、懇親会を行い、最後に明大校歌を斉唱の後、閉会となりました。



丸山部会長の挨拶



第2部懇親会

平成8年度決算報告

収入の部	(円)	支出の部	(円)
(1)8年度会費	582,000	(1)通信費(切手・ハガキ・郵費)	167,970
(2)9年度会費	24,000	(2)印刷費(名簿・案内状・指・部会報)	92,700
(3)総会会費	181,000	(3)会場費(総会)	18,025
(4)花火大会会費	315,500	(4)パーティー費(総会・花火・見学会・新年会)	1,047,735
(5)見学会懇親会会費	168,000	(5)講師等謝礼	110,000
(6)新年賀詞交歓会会費	524,000	(6)年会費振替手数料	6,900
(7)雑収入	41	(7)雑費(他部会参加費用・写真代・振込手数料他)	52,179
(8)前期繰越金	270,879	(8)次期繰越金	569,911
計	2,065,420	計	2,065,420

※別途に賀詞交歓会等でのオークション売上代金 175,535円があります。

平成8年度活動報告

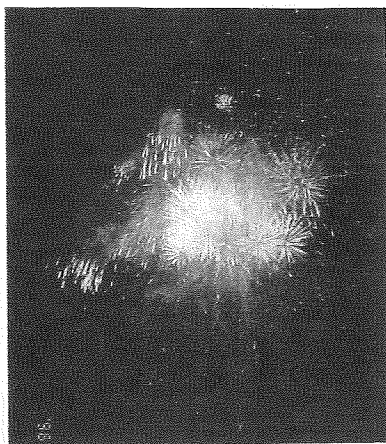
(総会)	8年4月24日	第11回 総会	明治大学会館
(懇親会) 納涼パーティー	8月17日	'96 神宮外苑花火大会	神宮球場
(駿台会)	10月16日	設立記念パーティー	京王プラザホテル
(同好会) 第2回ゴルフコンパ	11月18日	川越・グリーンクロス クラブ	
第2回ハイキング	11月16~17日	奥多摩 日原鍾乳洞散策・大岳山登山	
第3回釣り会	6月22日	鎌倉 小坪漁港(半助丸)	
第4回釣り会	9年1月11日	鎌倉 小坪漁港(源八丸)	
(見学会)	8年11月6日	「東京国際フォーラム見学会」	
(懇親会) 賀詞交歓会	9年1月27日	銀座・ばるはらでん	
	2月6日	校友会支部設立準備総会	佃町・久保工務店

平成9年度活動予定

平成9年6月17日(水)	第12回 総会	明治大学会館
7月8日(火)	四大学合同懇親会	明治大学会館
7月12日(土)	第5回 釣り会(半助丸)	鎌倉・小坪漁港
8月17日(土)	納涼パーティー'97「真夏の夜のジャズ」	六本木・パドランド
9月20日(土)	校友会「全国大会」	甲府富士屋ホテル
10月7日(火)	校友会「建設・不動産明大会」第1回総会	明治大学会館
11月末	勉強会	
秋	明大昭和会第26回総会	明治大学会館
秋	第3回ハイキング	
秋	第6回釣り会	
平成10年1月	新年賀詞交歓会	
3月	勉強会	

平成8年納涼パーティー

平成8年8月17日(土)恒例の納涼パーティーが、神宮球場で行われた日刊スポーツ主催「'96 神宮外苑花火大会」に参加し、真夏の夜空に打ち上げられる1万発の花火を楽しんだタベでした。参加者は、48名でした。



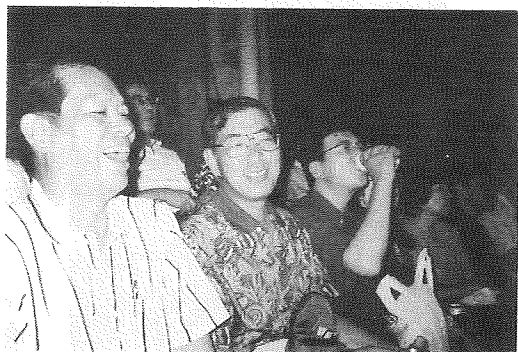
神宮外苑の
花火大会を
見物して

エヌテック(株)営業部長
加賀美 進 (昭35・商)

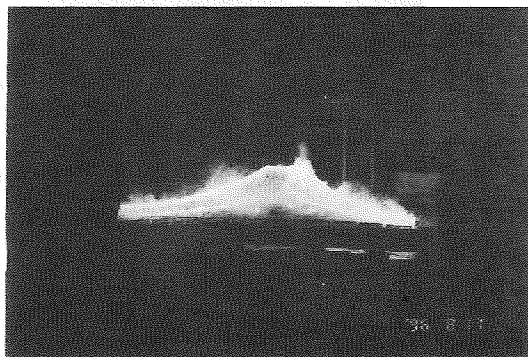
「人生 夢幻の如くなり」とはあの有名な太閤秀吉が臨終の時に言った言葉です。神宮外苑の華麗で壮観な花火を見た時、ぱっと咲いて瞬時に消える花火は、まさにその言葉どおりはかない一生を表現している感じにとらわれ、また、人は誰もが夢を追い求め人生を過ぎてゆく。それはちょうど花火が果てしない夜空に絢爛豪華に咲き夢幻の境地へと誘い、そして消えていくのに似ています。そして、そこに自分の今日迄の人生が花火とダブって見えるような気がしたのは私だけではないでしょう。

一生を燃え尽くしてはかなく消えていく人生は、まさにこの花火のようなものだとつくづく感じました。明大OB建設・不動産部会の親睦会の企画は誠に素晴らしく常に一流で、この花火大会もめったに見れるものではありません。皆、正面の眺望のよい席で最高の気分のよい夏の夜のひとときでした。幹事の方に心から御礼申し上げます。願わくはこれからも他の部のない一流の企画をお願いします。

愚見ですが、次回は臨海副都心のオープンしたホテル日航の東京湾の絶景を眼前に見るレストランで夕食会は如何でしょうか、めったに経験できない、これも一流の素晴らしい企画になると思います。



スタンドにて



仕掛け花火

東京国際フォーラム見学会

平成8年11月6日

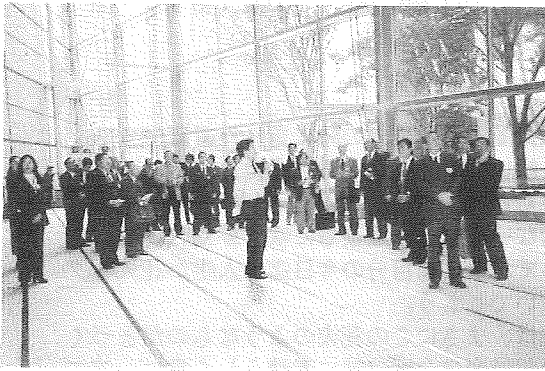
旧東京都庁跡地利用として、国際設計コンペ等の話題を提供した『東京国際フォーラム』も、平成4年10月からの長期にわたる工期を経て、平成9年3月にオープンしました。

この度、一般公開に先駆けて、平成8年11月6日(水)『東京国際フォーラム』見学会を明大建築科OBの大成建設(株)加藤前東京フォーラム工事所長の案内で開催しました。

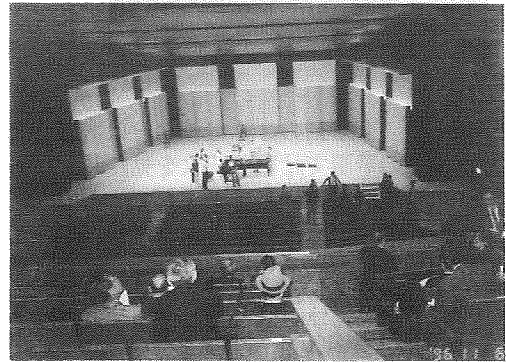
地下1階から約60mの高さの巨大な吹き抜けガラスホール、各種ホール、会議室、展示室等ふだん見られない裏側まで、多数の見所が盛り沢山でした。参加者は、46名でした。

〔建物概要〕

所在地	東京都千代田区丸ノ内3-5-1		
敷地面積	27,409㎡	階数	地上11階、地下3階、塔屋1階
建築面積	20,960㎡	階高	57.1m
延床面積	144,406㎡	最高高さ	59.8m
建ぺい率	76%	構造	基礎;直接基礎 地下;RC造 地上;鉄骨造
容積率	527%		屋根;アルミパネル、網入りガラス
			外壁;花崗岩打込PC板、アルミパネル、透明ガラス



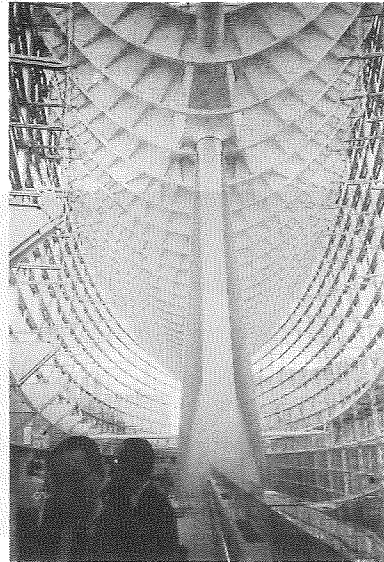
ガラス棟の見学



ホール棟



ガラスホール地下



ガラスホール

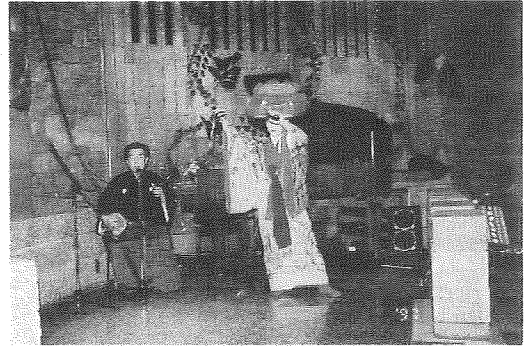
平成9年新年賀詞交歓会

銀座・ばるはらでん

平成9年1月27日(月)銀座『ばるはらでん』で、恒例の新年賀詞交歓会が行われました。今年は、無国籍・小皿料理のお店『ばるはらでん』で、文化庁芸術祭賞も受賞された仲濱靖一氏をお招きし、沖縄の古民謡をたっぷり楽しんだ後、恒例のオークションを行いました。奥様ご同伴の方を含め、参加者は49名でした。



恒例のオークション



沖縄古民謡



歓談のひとつき

校友会支部設立準備総会

平成9年2月6日(木)、明治大学校友会『建設・不動産明大会支部』設立準備総会が神田須田町、(株)久保工務店9階会議室で行われ、当日は30名の部会員が集まりました。土金さんの開会の辞に始まり、兼松副部長より過去2年間の校友会支部設立までの経緯の説明、建設・不動産部会の有志で加入を検討等について説明がありました。

三橋議長、沼田副議長を選出し、まず会則の審議を行い、次に役員を選任を行いました。総会終了後、懇親会を行いました。

〔役員〕

相談役	庄司 光克 (昭30・商)	・	細田 安治 (昭31・政経)
支部長	兼松 紘一郎 (昭37・工)		
副支部長	三橋 一夫 (昭39・商)	・	沼田 傑 (昭46・経営)
幹事長	高橋 弘 (昭61・商)		
会計幹事	近藤 翠 (昭45・政経)	・	吉良 昭 (昭52・工)

幹事	曾我 純一 (昭39・商)	・牧 靖祐 (昭40・政経)
	土金 雅晴 (昭41・商)	・秋元 道別 (昭41・法)
	近藤 善七郎 (昭43・工)	・榎本 行男 (昭45・政経)
	柳沢 克行 (昭53・政経)	・川原 昌洋 (平5・政経)
会計監査	白坂 博 (昭35・法)	・加藤 知裕 (昭35・経営)

うち代議員候補者

兼松 紘一郎 (昭37・工)	・三橋 一夫 (昭39・商)
曾我 純一 (昭39・商)	・土金 雅晴 (昭41・商)
高橋 弘 (昭61・商)	

明治大学校友会 「建設・不動産明大会支部規約」

(名称)

第1条 この会は、明治大学校友会建設・不動産明大会支部(以下「本会」という。)と称する。

(目的)

第2条 本会は、会員相互の親睦と交流を図り、母校明治大学の発展に寄与することを目的とする。

(会員)

第3条 本会は、明治大学の同窓生で、建設業、不動産業並びに同関連業種に携わる者をもって、組織する。

(活動内容)

第4条 本会は、第2条の目的達成のため、次のことを行う。

1. 会員名簿、会報等の発行
2. 会員の親睦、交流のための大会、行事
3. その他、本会の目的に沿う活動

(総会)

第5条 総会は、年1回開催し、本会の重要問題を審議する。

2. 臨時総会は、役員会において必要と認めるとき、支部長がこれを招集する。

(役員)

第6条 本会に次の役員を置く。

1. 支部長 1名、副支部長 若干名、幹事長 1名、幹事 若干名、会計幹事 若干名、会計監査 2名。
2. 前項の役員は総会で選出し、役員任期は2年とする。

(相談役、顧問)

第7条 本会に相談役、顧問を置くことができる。

(会計)

第8条 本会の会計は、会費及び寄付をもって運営する。

(事務所)

第9条 本会の事務所は、役員勤務先に置く。

(運営細則)

第10条 本会規約第4条の活動を実施するにあたり、その運営に必要な運営細則を定めることができる。

(明治大学校友会における位置)

第11条 本会は、明治大学校友会会則第35条の支部(職種)として機能する。

(その他)

第12条 本規約に定めなき事項は、支部長が役員会の承諾を得て、定めることができる。



不動産駿台会だより

代表世話人
副部会長
(株)ラッキーコーポレーション 代表取締役
鈴木 正彦 (昭40・経営)

昨年10月16日に京王プラザホテルで産声をあげた不動産駿台会(正式名称:明大昭和会建設・不動産部会不動産情報交換分科会)は、活動を開始してから早くも1年近く経ちました。

毎月1回の情報交換会を開催し世話人会や他大学との交流も何度か重ねております。

6月には初めての懇親旅行を房総半島の千倉で行い、三橋副部会長にもご参加いただき大いに語り、飲みかつ歌い、翌日は有志によるゴルフと、お互いの胸襟を開いたとても中身の濃い旅行となりました。

情報交換会ではどのようなことを行っているのか簡単に説明しますと、まず最初に事務局からの連絡や部会からの報告、新入会員の紹介、そして会員の中からホットニュースを持っている人に20~30分お話をさせていただきます。今までに発表されたテーマには「優良建築物の減税特例を受けて」(平野 學氏)、「定期借地権の現状と将来予測」(落合 一久氏)、「全国仲人連合会で良縁を」(手塚 豊氏)等があります。

参加者は自社で直接取り扱っている不動産物件(売地・売家・売マンション等)や顧客情報を用紙に記載し、参加人数(約30~40人)分コピーして持ち寄り、お互いに内容について概略を説明いたします。

興味のある情報があれば、後日お互いに連絡を取り合って話を進めます。現在までのところ、まだ会員同士の成約はありませんが、情報のやりとりは盛んになりつつあり、成約1号が出るのは時間の問題といったところです。

当会が縁で成約した暁には、手数料収入の1%を寄付していただくことになっております。(但し、最高5万円が限度)。この寄付金は、ある程度蓄えられたら部会とも相談して社会奉仕活動を援助いたします。

不動産駿台会には不動産業者だけでなく、建設業・広告業・店舗内装業・会計事務所等幅広い業種の人たちも参加しており、女性も毎回2名ほど参加しています。

新しいメンバーもたくさん加わりました。彼らはこの会を良くしようと、進んで世話人を買って出てくださいています。

不動産三田会・不動産稲門会・不動産白門会が不動産駿台会と異なる点は、我々は単純に不動産物件情報の交換を行うことが主目的ですが、他大学では不動産の物件情報交換は一つの活動であり、キチンとした会則に基づき研修会や広報活動、社会活動、親睦活動を行っており、我が建設・不動産部会が行っているようなことを行っています。

我々が不動産駿台会を立ちあげるまでに、他大学の皆さんには本当にお世話になりました。情報交換の実務はどのように行ったらよいのか。また、我々の計画が暗礁に乗り上げたときは暖かい声援を送ってください励ましていただきました。

紙上をお借りして厚く御礼申し上げます。

今後の不動産駿台会にご期待ください。

明治大学の近況 (駿河台地区整備計画)

現在、駿河台地区に建設中の新校舎の名称が「LIBERTY TOWER」(リバティータワー)と決定しました。



建物は、9月末現在、18階まで立ち上がっており、1年後に第1期工事が終了する予定です。

〔建物概要〕

工事名	明治大学駿河台地区施設整備計画(A地区)建設工事
敷地面積	11,147.91 m ²
建築面積	7,562.27 m ² (うち今回増築 6,119m ²)
延床面積	75,422.17 m ² (うち今回増築 59,011m ²)
建ぺい率	63.84 %
容積率	623.33 %
階数	地上23階、地下3階、塔屋1階
最高高さ	118.95 m
構造	基礎;直接基礎 地下;RC造 地上;鉄骨造 外壁;磁器質タイルPC板、アルミパネル、透明ガラス
設計管理	(株)日建設計
施工	(株)竹中工務店

明治大学校友会「建設・不動産明大会」支部第1回総会

「建設・不動産明大会」支部が、5月25日明治大学校友会代議員総会において正式に校友会支部として承認され、今回校友会支部旗が授与される運びとなりました。

つきましては、平成9年10月7日(火)午後6時30分より明治大学大学会館8階会議室において、第1回総会を開催いたします。

〔事務局変更のお知らせ〕

平成10年4月より建設・不動産部会が「建設・不動産明大会」へ名称変更されます。それに伴い来年度より事務局が(株)久保工の高橋弘さんのところに変更になりますので宜しくお願いします。

〒101

東京都千代田区神田須田町1-2

(株)久保工 第3事業部

☎ 03(3253)8010

FAX 03(3255)9811

〔事務局〕〒151 東京都渋谷区代々木2-10-10

(株)ラッキーコーポレーション 事務局長 秋元 道別(41・法)

☎ 03(3370)8458 FAX 03(3320)1354

編集

広報部

榎本 行男(45・政経)

池田 守雄(51・農)